

TRICOLOR

海洋キャンプ



7/25(土)~30(木)、今年も徳島県阿南市にあるYMCA 阿南国際海洋センターにお邪魔してきました。

ベルマーレと合同で、今回は総勢31名、内かながわクラブの子ども6名、引率は私の他にベルマーレから2名参加でした。渋谷駅発の夜行バスで徳島駅へ。そこで現地手配の専用バスで海洋センターに向かい、途中でベルマーレと合流です。

9:00 過ぎに到着。好天にも恵まれ楽しい初日を過ごすことができました。が、翌日からはず〜と雨です。

海洋センターは北向きに作られているため、夏に天気も崩れても滅多に海が荒れることはなく、合羽を着て海に出ます。子どもたちの体力を考慮して一部変更したこともあります。当初予定していたプログラムのほとんどを消化できました。

やはり今年も一番人気は一人乗りのシーカヤックです。カヌーやジャンボカヌーなど、仲間と力を合わせるのはどうも苦手のようです。

グループでのプログラムをはたからみると、人が自分の思ったように働いてくれないことに怒り出す、他の人を頼ってなにもしない、何をしたらいいのかわからない、何も考えずふざけだす、の4種類の子どもたちに分類されるようです。もちろん数名のリーダーシップを持った子供たちが悪戦苦闘しています。そしてすぐにあきらめ我々に助けを求めてきます。

こういう場面では、いつも我々は口出しをせず、どうしたら解決するのか、つまり船が前に進むのかを考えさせます。

毎年思うのですが、もう少し期間が長ければ、あるいはもう少し我々が上手に

持って行ってやれたら、彼らは自分たちで目の前の問題を解決できるはず。そういった能力を養うにはもってこいのキャンプだと思っています。

今回参加しなかった皆様も、是非一度検討してみてください。キャンプから戻ったお子様はきっと一回り遅くなっていることと思います。(内田 佳彦)

カヌー教室

【豪雨のカヌー教室】



海洋キャンプが雨にたたられましたから、こちらは大丈夫だろうと何の根拠もなく樂觀視していました。

しかし、こちらも雨。しかも豪雨です。しかもこんなときに限って過去最高の参加をいただき、本クラブ関係者だけで32名もの皆様にご参加いただきました。きよかわアウトドアスポーツクラブの皆さんのご協力をいただき、午前中はカヌー操作の基本、パン食い競争などのゲームを行い、午後は宮ヶ瀬湖探検ツアーに出かけます。

午後はさらに激しい雨となりましたが、風がないので今までと比べてかなり楽に進めます。なんといっても湖でのカヌーの大敵は風なのです。

もう少し水量が多ければもっと楽しい場所にご案内することもできたのですが、その時になってみないとわからないため、今回は少し残念でした。

来年あたりは、キャンプや沢歩きなどと組



FOR ALL SPORTS OF JAPAN
スポーツ振興くじ助成事業

み合わせて実施しても面白いだろうな～
などと勝手に思っています。

悪天候にもかかわらず参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。これに懲りずに来年もぜひご参加下さい。お待ちしております。(内田 佳彦)

Y150 記念 国際少年サッカー大会

8/20(木)～21(金)、横浜開港 150 周年記念の国際少年サッカー大会が三ツ沢で開催されました。

釜山市はインフルエンザを懸念して参加を取りやめましたが、上海市が参加。新潟市、神奈川区、泉区、金沢区をあわせて5チームのリーグ戦が行なわれました。

本クラブからは神奈川区選抜に小6の岩下君、下野君、矢澤君、横山君が出場しました。

日頃なかなかプレーする機会のないニッパツ三ツ沢球技場や陸上競技場で熱戦を繰り広げました。

さてさて結果は別として、神奈川区選抜では上海市の子どもたちのホームステイを受け入れることになり、岩下さん、矢澤さん、横山さんの各ご家庭で1名ずつを受け入れていただきました。

食事や洗濯は？どこでどうやって寝るの？ご家庭での心配は計り知れないものがあつたはず。特にお母様方には本当にお世話になりました。ありがとうございました。

私は「サッカーをしていれば世界中どこにいてもすぐに友達ができる」とずっと思っています。

その国際性をもっともっと取り入れていきたいものです。そろそろ海外遠征を考えてもいい頃かもしれません。(内田 佳彦)

国際チビ子サッカー大会 組合せ

SL(小2/A チーム)

FC ゴール/あざみ野 FC-B/バディー-SC-B/
エストレーラ FC-A/山田若竹 SC/横浜 GSFC

SL(小2/S チーム)

万騎が原 FC/FC ゼブラ-A/ニッパツ SC

エストレーラ FC-B/丸山台 SC/フレンド SC

LL(小4/A チーム)

青葉 FC ブルー/FC 隼-B/FC 杉田-A/
一本松 SC-B/六ツ川 SC/今宿少年 SC

LL(小4/B チーム)

FC 野庭/市が尾 FC プリーオ-W/ニッパツ SC
青葉 FC-W/六浦少年 SC-A/小雀 SC

L(小6)

若葉台 FC-B/市が尾 FC プリーオ/磯子 SC
横浜かもめ SC/瀬谷サンダーキッズ/戸塚 SC

大会・公式戦結果

Top

【神奈川県社会人サッカーリーグ 1 部(KSL-1)】

▼第6節	
vs 平塚 SC	1-1△
▼第7節	
vs フットワーククラブ	0-4●
▼第8節	
vs 日立小田原	1-0○

Youth

【県 U-18 リーグ】

vs 公文国際	1-1△
vs 港北	0-4●
【KCY リーグ】	
vs 大宮ソシオ	0-2●
vs 浦安 JSC	0-4●
vs Y.S.C.C.	0-7●
vs 西多摩 SSS	2-6●

Junior Youth

【高円宮杯全日本ユース(U-15)選手権県大会】

▼1 回戦	
vs 横須賀市立常葉中	6-2○
【県 U-15 リーグ】	
vs ヴェルディ相模原ペレジーニョ	3-1○

※4 チーム中第 1 位で 1 部昇格決定戦へ

【県 U-13 リーグ】

vs 横浜 GSFC	3-4●
vs パルピターレ JY	1-0○
vs 相陽中	4-1○
vs シュート JY	1-4●

小6

【耕余杯争奪少年サッカー大会】

<グループリーグ>	
vs 平塚四	0-1●

vs 羽鳥	0-1●
vs 三の丸	1-2●

※4 チーム中第 4 位

<3・4 位トーナメント>

▼1 回戦	
vs 西柴	2-1○
▼準決勝	
vs 小糸	0-3●
▼3 位決定戦	
vs コラッジオ	0-4●

Papas

☆Rec

【県シニアリーグ四十雀 4 部】

vs TFC	2-3●
vs SFC	1-5●
vs コロコロ	3-1○
vs 川崎 A	1-4●

☆Comp

【県シニアリーグ四十雀 3 部】

vs 浅野クラブ	7-2○
vs 横浜 OB	1-0○
vs 高麗 FC	2-0○
vs FC 中沢	5-0○

今、グラウンドでは・・・

Top

【真夏の県リーグ！】

県リーグは8月に3試合行いました。過去に県リーグで8月に3試合行ったことはありません。

その対策として6月の県リーグ終了後、真夏のリーグ戦を戦うだけの体力を備えるために7月から練習内容をハードにしてみました。全体練習としては主に攻撃パターンの繰り返し、それは普通の練習ですが、相手の逆襲に備えて、自分のポジションに戻る時にも全力ダッシュに戻ります。

その効果があつたかどうか、8月の県リーグ3連戦は1勝1敗1引き分けでした。

内容で勝てたと思った平塚 SC 戦を引き分け、フットワーククラブ戦はまさかの 0-4 での完敗、それも終了間際の2失点、そのまま引きずるかと思われた日立小田原戦も終盤まで 0-0、押し気味に進めていた試合を引き分けで終わるのはモチベーション

ンが下がってしまう、と思われた後半40分に6堀内からのクロスで11 二木が落ち着いてヘディングシュート、これが決勝点になり5月24日以来の県リーグ勝利となりました。

これで県リーグは3試合を残し勝ち点15、すでにかながわクラブが1部に昇格してからの最高勝ち点となりました。

8月終了時点での順位は暫定ながら2位。今後はまだ試合数の少ないチームの勝敗によりますが、依然有利な位置にいるのは間違いありません。なんとしても2位以内を確保して、関東社会人サッカー大会(11月山梨で開催)に出場し、関東の強豪チームと戦ってみたいと思います。そのためには、残り3試合全て勝つことが Top チームに課せられた使命です。

9月以降の日程については、まだ流動的ですが、9月20日(日)VERDRERO 港北との試合が組まれています。ぜひ、皆さんの応援で山梨に行かせてください。今後も Top チームの応援よろしくお願いたします。(中本 洋一)

☆Top チーム公式 Web サイト

<http://www.kanagawaclub.com/topteam/>

【選手紹介⑫】



Top チーム選手紹介第12回目は、Top チームのファンタジスタ、7金田将寛選手です。

今シーズンからかながわクラブに加わった金田選手は、川崎フロンターレユース出身、ポジションはボランチでもトップ下でもサイドでもどこでもこなせるユーティリティープレイヤーです。

金田選手の持ち味は、細い体にもかかわらず、当たり負けしないフィジカルの強さに加え、多彩なボールタッチで相手を翻弄し、ゲームをコントロールできる点です。

今シーズンも横浜 GSFC コブラ戦で後ろからのロングフィードに柔らかいトラップで相手をおろしそのままシュートしてゴールをあげており、攻撃の核として欠かせない選手になりつつあります。

まだ21歳という年齢で今後の成長も楽

しみな選手です。ぜひ、県リーグでの金田選手の華麗なテクニックを見に来ていただきたいと思います。

☆金田選手からのコメント

今シーズンから加入したMF7金田です。

前節の日立小田原戦にはたくさんの声援ありがとうございます。応援の後押しもあり、最後に得点し勝利することができました。

残り3試合必ず勝利し、関東大会進出だけではなく、関東2部リーグ昇格を目指して戦っていきたいと思います。

個人的には、チームのために走り回り、勝利に貢献したいと思います。

応援よろしくお願いたします!

Youth

【読書の薦め】

元日本代表の中田英寿氏についてのルポ「中田英寿 誇り」(小松成美著・幻冬舎文庫刊)が文庫版となって出版されたため、ためらわず買いました。

妥協することを許さず、練習から試合まですべてを全力でプレーすることを自分に課し実践した中田。

ドイツワールドカップのブラジル戦終了後にいつまでも立ち上がれなかった真相。

彼は日本のサッカーをどう考えていたのか、ドイツワールドカップで彼は何が悔しかったのか、旅のはてに彼が考えついたことは?などなど、本人のインタビューを中心に書かれていますが、とてもわかりやすくまとめられています。

サッカーをプレーする高校生には、是が非でも読んでほしい一冊です。サッカーに対する造詣が深くなること間違いなしです。(内田 佳彦)

Junior Youth

高田宮杯全日本ユース(U-15)選手権県大会が始まり、1回戦を突破しました。

試合当日は学年に関係なく多くの保護者の皆さんが会場まで応援に駆けつけてくれました。そのおかげもあって大事な試合に勝つことができました。

子どもたちにとって、お母さん・お父さんたちは一番のサポーターです。

ですから、今後も会場に積極的に足を運んでもらうのはもちろんのこと、試合中はJリーグのゴール裏のごとく、皆さんで一体となって熱い応援をして欲しいと思います。

それに対し、子どもたち選手は、サポーターの声援に応えるのは当然のことです。不甲斐ないプレーや試合をしようものなら、普通、サポーターからはブーイングの嵐です。

選手である以上「手を抜かず」に全力を尽くす「最後まであきらめずに走る」ということを最低限行わなければならないのは言うまでもありません。試合中に下を向いているなんてありえません。

常にそういった姿勢でプレーしていれば、試合の結果に関係なく、サポーターはまた来てくれるはずですよ。(二木 昭)

小 6

インサイドによるキック・コントロールの練習を始めました。

世界のサッカーでは、「長距離」のパスでもインサイドキックで「速いボール」を蹴り、とおすことができる選手が沢山います。が、Jリーグでそのようなパスを出せる日本人選手は残念ながら見受けられません。

インサイドはボール接地面が広く、使用頻度の高い部位です。まず、「正確に蹴る」ことを心がけて練習してほしいと思います。(高田 成典)

小 5

【今取り組んでいること】

長かった夏休みが終わりました。今年は猛暑日が少なかったこともあり、例年と比べてそれほど練習のペースを落とすことなく、毎回充実した練習ができたように思います。

7月と8月の週末のトレーニングでは、ひたすら1チーム4人以下のミニゲームを行ない、子供たちには常にボールに関わることを、そしてプレーに参加することを求めました。ご存知のとおり、狭いスペースで行う少人数のサッカーは、頭と体を休めてプレーするシーンは少なく、必然的に判断のスピードとボールコントロールの精

度が要求されるため、スキル(試合で使える技術)を高めるには最適のトレーニングとなります。少し時間はかかるかもしれませんが、全員が観て、考えて、判断することができるようになるまで、ミニゲーム形式のトレーニングを継続していくつもりです。

また、涼しくなる9月以降はコンスタントに対外試合を組もうと考えています。チームとしてのゲーム内容と結果は気になるところではありますが、それはひとまず置いておいて、一人ひとりの課題がどこまで改善できたのか、また個人としてどこが足りていないのかを考える良い機会をとらえて、子供たちにはミスを恐れることなく積極的に臨んでもらえればと思っています。

(鈴木 章弘)

小 4

【国際チビッ子にむけて】

まだ残暑が続きますが、もうすぐ国際チビッ子が始まります。春季大会ではギリギリで決勝トーナメントに進めず悔し涙を流した選手も沢山いました。今回、かながわクラブは、2チーム登録となり前回の大会より1人1人の出場時間も多くなります。

出場時間が増えるということは、1人1人の試合での働きが試合に大きく左右されます。

夏の厳しい暑さの中での練習に耐えたかながわクラブの選手たちには、責任感と楽しむ気持ちを持って大会に臨んでもらいたいと思います。チームの目標としては、両チームの決勝トーナメントの進出と選手たちに話をしました。

大会まで残されている練習・練習試合でベストな状態に持っていきけるように選手たちをサポートしていきたいと思っています。

【体調管理】

これから公式戦が始まりますので、選手1人1人しっかり体調管理を行ってください。休むときは、しっかり休む・練習するときは、しっかり練習する・勉強するときは、しっかり勉強する(笑)試合でもプライベートでも切り替えをできるようにしましょう。

特に疲れている時・体調が悪い時に練習をすると病気やケガの元となります。身体を休めるのも良い選手の条件の一つですよ!!

【暑さ対策】

まだまだ気温が高く暑い日々が続くことが予想されますので、引き続き飲み物を多く持たせてください。他にも冷たいタオル・帽子など気温が高い日は、選手たちに持たせるよう宜しくお願いいたします。

(丸山 祐人)

小 3

【楽しい!! 厳しい!? 夏休み】

毎年のことながら、子供たちにしてみれば「あっ」という間の夏休みだったことでしょう。今年はお天気が少し不順でしたが、それでも旅行やレジャーで楽しい思い出も出来たことと思います。一方、カテゴリーが上がると合宿や遠征もあり「過酷な夏」でもあったと思います。しかし、厳しかったであろう合宿や試合で技術・体力が向上し、また、仲間と共同生活を送ることでコミュニケーションも深まったことでしょう。厳しさを乗り越えたことで強くなれたと思いますし、更なる成長に繋げて欲しいと思います。

【恒例行事】

夏休み、という少年サッカーの大会も多くあり今年もいくつかを観戦しました。「全日本少年サッカー大会」決勝トーナメントでの激闘、その上位チームやJ下部組織が集まるカップ戦での地域クラブの健闘、と今年もいろいろな「闘い」を見せてもらいました。そんな中でも改めて「やはり小学生だな」と思うこともいくつかありました。高い技術力や身体能力を備えたチームですべての試合をベストな状態で迎えられる訳ではなく、特に夏場のこの時期は好不調の波が大きいことも改めて認識しました。(もちろん、小学生で完璧だったら逆に恐いのですが(笑))それでも、懸命にボールを追いかける選手の姿には頭が下がりますし、かながわクラブの皆にもそんな強さを持った選手になって欲しい、と思った次第でした。

【まだまだ暑さ続きます】

元気に活動するために体調管理には十分気をつけて欲しいと思います。いつものことですが「サッカーをする準備」を整えた上で参加してください。多めの水分、体を冷やす凍ったペットボトルの準備も引続

きお願いします。(小野 津春)

幼児・小1・小2

【公式戦も練習試合も同じ試合】

2年生以下の公式戦(小学生年代の公式戦)が横浜市には春と秋と2回あります。春の公式戦については、参加する他のチームの指導者や親御さんの意識の違いや短時間の試合出場のために貴重な週一日の活動を充てることで、2年生になったばかりの子どもたちにとってプラスにならないという判断から、例年、参加を控えています。

公式戦では、いかめしい黒い審判服の大人が3人いて、ベンチからは指導者の大きな指示の音が響き、グラウンドの周囲を埋めた親御さんからも熱い視線が注がれ、主役であるべき子どもたち自身がサッカーを楽しむ雰囲気が全く感じられないことが多くあります。

以前からお伝えしているように、かながわクラブでは、公式戦に限らず試合に参加することの意味について、普段練習してきたことがどれくらい試合(ユニフォームの色の違う相手との関係)の中で発揮できるのかに主眼を置いています。また普段の練習も、試合に勝つことを重視した指導方針で行っているわけではありません。子どもたちの成長や特性に合わせて、最適な時期に最大限の効果が期待できるような指導を年代毎に行っています。

【機会均等と質的平等】

普段の練習で身につけた技術が、緊張感による多少のプレッシャーとグラウンドを取り巻く大人たちの独特な雰囲気も加わった試合場で、ユニフォームの色の違う相手との関係の中でどれくらい発揮できるのかをチェックする機会はどの子にも与えなければなりません。

そこでかながわクラブでは、低学年の試合においては、参加した選手は必ず試合に出場させることにしています(機会の均等)。ただし、その際に出場時間まで、皆が平等に〇分ずつということにはしていません。

今の段階でも、子どもたちの技術、意欲、体力には明らかに差があります。そうした

差を考慮しつつ、多少の調整を加えながら、試合への出場時間を決めています(質的平等)。特に公式戦では、気後れしている子どもが無理やり試合に出されたことで得られるものは皆無です。また、力が著しく異なる環境に子どもを放り込むことは、F1のレースに普通免許で参加することと同じくらい危険をはらんでいます。何よりも、嫌な思い出や怪我をすることなどが、不幸にもその後の子どもたちとサッカーとの繋がりを絶つことになりかねません。

【秋のリーグ戦参加にあたって…】

SL というカテゴリーは2年生以下で、8人制ということになっています。現在、2年生は21名在籍していますが、当日の欠席などを考慮すると、いくら8人制とはいえ、10名でのエントリーには不安が残ります。そこで、今回は1年生の中から、2年生と一緒に練習をしてきた期間の長い子たち6名を加えて、13名と14名の2チームに分けてエントリーをしました。

勿論チーム分けにあたっては、Aチーム、Bチームということではなく、チーム力が均等になるように分けてあります。また、選ばれた1年生に関しては、2年生との練習でも物怖じせずに行けるという点を重視しました。あくまでも現段階での評価ですので、選ばれたからといって過信したり、逆に選ばれなかったことを悲観したりする必要は全くありません。今後のサッカーへの取り組みが大切です。きちんと練習に参加して、技術を磨くことで、次回は2年生の試合に呼ばれるかもしれません。

【親御さんへのお願い】

重ね重ねのお願いで恐縮ですが、決して試合の勝ち負けだけで子どもたちを評価しないでください。ユニフォームの色の違う相手に対して、これまで練習してきたことがどれくらい発揮できるかという視点で見ることをお願いします。試合のなかでは、練習中にできたことが100%できるとは思いません。また、練習でできないことは試合では絶対にできません。相手も必死ですし、緊張もあるでしょう。プレッシャーも少なからずあるはずですから…。

普段の活動では、ドリブルを中心に練習を組み立てています。また、ボールを奪

われないように、あるいは逆にどうやってボールを奪うのかという体の使い方については練習しています。ですから、それらの点について、どれくらいできているのか、あるいはできていなくてもやろうとしているのかどうかを確認しています。ボールを蹴ることに限らず、まだまだ手をつけ始めたところですので、ゴールキックやコーナーキックなど、今の段階では上手にできないことは止むを得ないと考えています。

最後に、応援についても一つお願いがあります。それは、自分の子だけでなく自分のチームの他の子どもたちと相手のチームの子どもたち全員に対して、応援して欲しいということです。具体的な声援の中身についても、「うまくできたら褒める。ミスしたら励ます。」というかながわクラブの基本的なスタンスをお願いします。目を血走らせて、罵詈雑言を子どもたちに浴びせかけることだけは決してしないようにしましょう。

また、審判資格をお持ちのお父様方には、いつものように審判のお手伝いをお願いすることになると思います。ご協力のほど宜しくお願いします。(佐藤 敏明)

Papas

【シニアリーググラウンド提供問題その5】

グラウンド提供義務と課徴金問題については、シニアリーグの中に検討のための組織を設置する方向で協議が進んでいます。かながわクラブからもそのメンバーを派遣する方向でいます。この組織については9月5日の代表者会議で明らかになるものと理解しておりますので、また次号にて報告します。

【シニアリーグ後半戦再開】

シニアリーグでは盛夏は試合を休んでいましたが、いよいよ後半戦の再開です。試合結果はこの号の別項をご覧ください。というわけで幸先の良いスタートを切りました。RecもCompも今季は充実した戦績を残していますので、是非よいシーズンとなるよう声援をお願いします。(茅野 英一)

ヨ一ガ

【七輪】

炭火で焼くとなんでも美味しくなりますね。あの独特の香りはたまりません。アウトドアでは良くバーベキューをしますが、これを自宅でもやってみたいと思いました。

以前住んでいたところは林に面していたので、ベランダで炭火焼きを楽しんでいました。でも、今のマンションは引っ越して来たころは新築。少しの騒音でも張り紙されるくらい皆さん住まいを大事にしている様子。とてもベランダでモクモクと煙を上げることなど許されない感じでした。

あれから、10年以上が経ちそろそろいいかな? 期が熟したとでもいいでしょうか? 先日、ベランダ炭火をこっそり決行してみました。

焼き鳥用の長細い七輪は今も健在。以前に買った小ぶりの炭も大丈夫そうです。キッチンのコンロで最初の炭に火をつけました。しけているせいもあり、かなり派手に火の粉が散ります。火事にならないかとヒヤヒヤしながらも無事に着火完了。

ここからはベランダに移動です。お隣は窓を閉めて冷房を入れている様子。チャンスです。

火の起き具合はなかなか良い感じ。でも、少し火が強くなりすぎてしまうと煙がもうもうと…。そこを上手に調節しながらの作業はなかなかスリリングです。

じわじわと食材を焼きます。肉は脂が程よく落ちて香ばしい焼き上がり。完璧です! ん〜…美味しい! 本当に美味しい! ちまちまと焼くペースは、ちょうど焼きあがりをアツアツで食べられてバッチリです。

その日はベジタリアンをお休みして焼き肉を楽しみました。

9月です。スタミナを付けて、さあ、お仕事。今月も頑張りましょう! (伊藤 玲子)

たわごと 理事長の戯言

【お盆】

お盆になりました。雨ばかりで夏らしい夏を感じることもないままにもうお盆です。

今年は仏壇の飾りつけなんかを手伝いました(手伝われましたの方が正しい)。

仏壇の前にテーブルを出し、その両側に笹のついた竹を立て、縄をめぐらせてそこにほうずきや柿、栗などをつるします。

また、前のバス通りのそばには泥で台座を作り、竹の線香立てなどを用意します。この上にはきゅうりで作った「馬」とナスで作った「牛」を乗せます。火に導かれ、この馬と牛に乗ってご先祖様の霊が家に帰ってきます(と教わってきました)。

随分久しぶりの竹切りです。竹藪自体がものすごいことになっており、腰の高さの草を掻き分けなければ進めません。ちょうどいい按配の竹を切り倒して持ってきたところ母親が一言。「それは隣の家の竹だあ。うおおお！K作さん、ゴメンナサイ！

枝を払い、根本のほうで線香立てと花立てを切り取ります。迎え火と送り火の分とで4本必要です。ま、これは小さい頃から工作が得意でしたから難なくクリア。が、父親の作った泥の台座が予想以上に薄っぺらく、異常に高い位置に花立と線香立がくっつきました。ご先祖様がびっくりしなければいいのですが…。

仏壇の前はいい感じで作業が進みます。いろいろなものを縄にぶら下げていくのですが、母親の命令により柿を採りに向かいました。子ども心に「柿は高いところになっている」イメージがあったため、高枝切り用の専用ツールをもって行きました。ところが予想以上に低い。普通の植木ハサミで十分なため、素手でチョキン。対でぶら下げるため、もう一つを切ろうとしたら左手の甲にチクン！みると青々とした、いかにも「この葉っぱは俺んだぞ！じゃますんな！」みたいな強そうな毛虫がおり、それに気がつかずに刺されたみたいです。すぐに痛痒くなってきます。いそいでキンカンを大量塗布。めげずにその1本を切り取るべく再チャレンジに向かうと、その枝に向かってキンチョール(緑色)を大量に噴射している父の姿がありました。毛虫はそんなものにめげることなく葉っぱにピタリとくっついていきます。ハサミの先っちょで他の草に移っていただき事なきを得ました。

子どもの頃であればどこに毛虫がいそうかなど普通に感じる事ができたのですが、家のことを随分とサボっていたためだいぶ勘が鈍ってきたようです。

あと3日は痛痒いだろうな…。

